

7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (北陸)		住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・土地の売買取引及び分譲住宅や注文住宅の需要の伸びを感じる。
		一般小売店〔鮮魚〕(役員)	販売量の動き	・既に春の旅行シーズンに入ったのかと感じるほど観光客が多い。前年の今頃は記録的な大雪に見舞われ、経済活動が停止した状態であった。今年は雪が全くなく足元も良い。春のような気候が続きJRの運休もないので、旅行者が今までになく増えているようである。卒業旅行の女子学生も親にカニなどの土産を買い、消費に貢献している。
		百貨店(売場主任)	来客数の動き	・前年の2月は前半から中旬に掛けての大雪の影響で来客数が減り売上が低迷した。本年は天候に恵まれ、春物商材の動きが例年に比べ早く好調に推移している。また、富裕層を中心に高額商材の購入意欲も旺盛で店全体の売上げをけん引している。4か月連続で前年超えの見込みである。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・商品に価値があれば、高単価商品でも売れている。
		コンビニ(店舗管理)	単価の動き	・売上前年比は100%を大きく超えている。この結果は前年、天候不順や大雪の影響を受けたためと考える。
		家電量販店(店長)	販売量の動き	・暖冬であったが、暖房強化型エアコンの高単価商品の売行きが良かった。積雪がないためエアコン工事がスムーズに進んだお陰である。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・今年に入り販売の出足は良くなかったが、少しずつ売上が回復している。
		住関連専門店(役員)	販売量の動き	・この時期、北陸地方は雪の影響を受けやすいが、今年は降雪も少なく足元が良いせいか、来客数の落ち込みが少ない。
		旅行代理店(所長)	来客数の動き	・暖冬により出控えやキャンセルも少ない。また、ゴールデンウィークの10連休の認識が広がり問合せが増えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・朝と夕方が結構忙しい。
		通信会社(店舗統括)	来客数の動き	・来客数の増加が感じられる。季節的に上がる時期ではあるが、それ以上だと感じている。
		住宅販売会社(従業員)	来客数の動き	・前年同時期のイベント来場者数を比較して増加している。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・前年は大雪のため来客数が少なかったが、今年は天候に恵まれ、また、春節に合わせて外国人観光客も増えている。
		一般小売店〔精肉〕(店長)	販売量の動き	・前年の雪の関係で販売量が多少前後するかとみていたが、余り変わらない状態である。精肉販売は、前年の雪と余り関係がなかったと感じている。
		一般小売店〔事務用品〕(店員)	販売量の動き	・官公庁の需要期で受注はそこそこあるが、民間企業の受注が少なく、売上増加に至っていない。
		一般小売店〔書籍〕(従業員)	来客数の動き	・繁忙期を迎えようとしているが、なかなか来客数が伸びてこない。前年同期と比較しても減っている。
		百貨店(販売促進担当)	販売量の動き	・バレンタインや物産展など中心市街地のイベント効果で来客数が増加しており、食品部門は好調である。また、ファッション部門は、天候の後押しで春物が先行してきており、特にセレモニー関連の需要がけん引している。
	百貨店(一般顧客訪問担当)	販売量の動き	・消費税の引上げ前で動きがみえるものもあるが、全体的には必要なものしか買わなくなっている傾向である。	
	スーパー(店長)	単価の動き	・客単価の減少が回復しないまままきまきでしまっている。気温が高く前年とは売れるものが変わってしまっているが、対応できていないのが現状である。	

	スーパー（総務担当）	単価の動き	・前年の2月は豪雪のため客単価が大幅にアップしていたが、今年は一転して暖冬のため、売上高は1割近く減少した。しかし、一昨年と比べるとほぼ同程度の売上である。
	スーパー（総務担当）	販売量の動き	・前年と比較して野菜の相場安や気温の変動はあるものの、月の販売量の動きは変動がないことから景気は変わらないと考える。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・青果の相場安が続くなか、鍋物商材の販売が振るわず、買上点数が上がらない。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価が伸びない。
	コンビニ（店長）	来客数の動き	・景気の動向より自店舗の改装の影響が強い。改装前の前年比では売上、来客数共に上昇しているが、一般的な全国の改装後の伸び率平均までは届いていない。そのため今月はやや良いが、景気が上向きかどうかは変わらないとする。
	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・暖冬でコートなどの冬物衣料が一層不振であり、なかなか好転のきっかけがみられない。
	乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・販売量は余り変化なく推移しているが、小型車から軽自動車への買換えが目立ってきている。維持費負担等の要素が大きいのではないかと考える。
	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・雪が少ないことで、新車購入を検討するユーザーの出足が前年に比べて早いと感じる。
	自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・天候にも恵まれたが春商戦も動き出し、タイヤ販売が早まっている。単価自体は例年並みで品質以上に価格に敏感な客が多い。新車販売の比率も高くなっており、ディーラーと購入金額を比較して、少しでもメリットの高い購入先を探している。
	その他専門店 〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・昔から2月と8月は閑散期である。1年を通して暇だが、特に2月は暇だと思ふ時期である。
	その他小売 〔ショッピングセンター〕（統括）	それ以外	・専門店の入替え工事の時期となっているため一概に比較ができないが、前年より積雪が少なかったため、前半の来客数は前年数値を上回っている。しかしながら、売上に関しては休業店が増えているため、館全体で前年を大きく上回っている状況ではない。
	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・前年に比べれば雪の影響はないが、例年どおり芳しくない。
	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・今年の2月は雪もなく、客からのキャンセルもなく順調に集客ができています。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・宿泊部門は前年並みで、レストランは来客数増で売上増だが、仕入価格の上昇を価格転嫁できないので収益は減少している。宴会部門はほぼ前年並みで、前年は雪害があったことを考慮すると、もっと売上が増加して良いと考えるが、伸びが低い。
	都市型ホテル（役員）	販売量の動き	・コンベンションや慶事の特需により、宴会部門は大きく売上増であるが、レストラン部門、宿泊部門共に景気動向は変わらない。
	通信会社（役員）	販売量の動き	・直近数か月の契約獲得数はほぼ横ばいであるが、前年との比較ではやや増加傾向にある。ただし、その理由は特に見当たらず、景気の回復傾向とまではいえない。
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・学生需要に伴い新規販売数は伸びてきているが、その他家族などへの販売が伸び悩んでいる。古くても使えるなら使うという人が多い感覚である。
	通信会社（役員）	販売量の動き	・2月下旬より徐々に客からの問合せや契約件数が伸びてはきたが、今月序盤は問合せや契約件数共に少なく、前年同月比で月内契約数は減少している。
	テーマパーク（役員）	来客数の動き	・前年同月と比較した場合、3か月前の来客数と特に変わらず、横ばいに推移している。

	その他レジャー施設 [スポーツクラブ] (総支配人)	来客数の動き	・成人会員の入会が減っている。特に現役世代といわれる年齢層が入ってこない。	
	美容室 (経営者)	来客数の動き	・今年は雪がほとんどなく暖かいこともあって、来客数、売上共に順調である。県内の景気は新幹線工事の影響もあってか、良いようである。	
	住宅販売会社 (営業)	来客数の動き	・来客数に目立った増加がみられない。	
	商店街 (代表者)	来客数の動き	・前年の大雪の影響で売上の前年比は良いが、期待したほどの人出も売上の伸びもない。買い控えの傾向が強い感じがする。	
	商店街 (代表者)	お客様の様子	・衣料品関係や安い品物の需要があるが、販売数は増加せず売上につながっていない。年齢の高い層には良い品物を長く持つ動きはあるが、売れる量は限られている。	
	スーパー (店舗管理)	販売量の動き	・暖冬により客足はあるものの販売数量が上がらない。青果物の相場安もあり、客単価が低いまである。	
	コンビニ (経営者)	販売量の動き	・おでんや中華まんといった、本来この時期に動かなければいけない季節商材の動きが悪い。かといって、冷やし麺などが良いわけでもないことから、やや下振れしているように感じられる。	
	衣料品専門店 (経営者)	単価の動き	・バレンタイン需要の来客数は前年並みにあったものの、客単価が下がった。	
	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・2月の販売量は前年同月比100%の見込みである。3か月前の販売量は前年同月比112%であるので、やや下向きである。	
	一般レストラン (統括)	競争相手の様子	・外食各社は人件費や原価、物流費などのコストアップを吸収するため、前年までにメニュー単価の改訂を実施している。その結果、売上高は前年並みをキープし、来客数は若干割り込む傾向だったが、ここ最近は売上高も前年を割り込む傾向である。その状況下で春に掛けて仕入価格や物流費、人件費の更なるコストアップがある。売上高と営業利益が減り始めている。	
	観光型旅館 (スタッフ)	来客数の動き	・前年比で総売上が90%、宿泊人数が84%、宿泊単価が109%である。前年は大型団体を確保できたが、今年は大型団体が施行されない対策としての中型団体が不調である。しかし、個人旅行が好調に推移したことにより、宿泊単価アップに貢献している。	
	×	衣料品専門店 (店舗運営)	単価の動き	・リニューアルの予定が後ろ倒しとなり、冬物消化も芳しくない。
	×	スナック (経営者)	来客数の動き	・団体の貸切りがあり、結果的には何とかあったが、開店休業のときもあり厳しさを感じている。貴金属店の経営者から、段々と売れなくなってきているという話も聞く。
	×	タクシー運転手	来客数の動き	・12月が非常に良かった関係もあり、2月は大きく落ち込んだ。また、例年であれば雪が降って足元が悪くなる頃だが、今年は雪がほとんど降らず天候が良すぎたことから、昼間でも悪い。
企業 動向 関連 (北陸)	-	-	-	
	精密機械器具製造業 (役員)	取引先の様子	・産地の全体的なキャパシティが減少していると考ええる。メーカーそれぞれにばらつきはあるものの、全体的には忙しいところが多くなっている。	
	不動産業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・同業者からの情報では、個人からの問合せが増えてきているということである。	

	税理士（所長）	取引先の様子	・2月に接触したデベロッパーや開発工事、あるいは建設業や製造業の人の話ではおおむね好調である。製造業の特徴としては、海外からの引き合いの受注残が多い。全体としては人手不足という課題もあるが、建設業や設備工事関係が好調である。職人を確保できている建築設備工事業のなじみ客は、他の業者が廃業していることから受注が後を絶たないとのことである。宅地開発のデベロッパーは、消費税の引上げ問題があるのか、住宅の需要が旺盛ということで堅調である。
	プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・受注の伸びの鈍さはあるが、総じて堅調に推移している。
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・3か月前の前年12月は年末工期の工事完成で忙しかったが、1～2月は小雪で除雪もなく、手持ち工事も薄く多忙感はなかったということ変わらない。
	通信業（営業）	受注量や販売量の動き	・前月同様に受注額が前年同月を下回っている。次月以降の受注見込みがやや持ち直していることから一進一退の状況とみる。
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・前年の大雪と比較して今年はほとんど雪が降らず、小売店への客足のほか、物流や施工建築等にも悪影響がない。前年比では好調な業種が全般的に多い。ただし、あくまでも前年比であり、トレンドが上昇したという感触はない。
	司法書士	取引先の様子	・新幹線や東京オリンピック関連工事のため建築資材が不足しており、店舗の新築工事が遅れているということである。なかなか借手がいなかった物件の借手が見つかったという話が複数ある。
	食料品製造業（経営企画）	それ以外	・商品群によって偏りはあるものの受注量や販売量に関しては全体的に堅調である。問題は労働力不足から必要な生産量が確保できていないことにあり、一部に機会損失も生じている。
	一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・欧米市場、国内市場共に受注が伸びていない。
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・今年の冬は小雪で冬物衣料の売行きが不振の上に、バーゲンセールでも売行きが悪かったとの報告を受けている。
	x	-	-
雇用関連	-	-	-
(北陸)	人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・派遣会社への登録者数は全く伸びない。マッチングができず困っている。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数は相変わらず少ない。求人先への紹介が困難な状況が続いている。
	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・3か月前とほとんど求人数が変わらない。
	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・前年と比べて、求人広告の内容及び件数が余り変わっていない。
	新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・自動車や住宅業界の話を見ると、消費税の引上げを見込んでの消費者の動きがないとのことである。ただ、当地は前年の大雪があり、前年と比べると少しは良いという話もある。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人倍率は2.11倍と、引き続き高い数値で推移している。1月は前年に比べ建設業と製造業で若干の減少がみられたが、他の産業については全て前年を上回る求人数となっている。特に卸売小売業、宿泊業、飲食サービス業、医療福祉業で求人が大きく伸びている。
	民間職業紹介機関（経営者）	雇用形態の様子	・職業紹介事業の変化は少ないが、派遣労働者は3年の期間制限ルールにより直接採用が増加し、派遣契約の売上減少で経営状況が厳しくなっている。
	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・前年同期と比べ、企業の2019年4月採用の求人状況は2月末になっても継続しているところが目立つ。

		-	-	-
	x	-	-	-